

『中国分科会第4回会議 in 深圳』開催報告

開催日時： 2007年3月23日（木）9：00～17：30～20：30

開催場所： ①万科企業集団建築研究中心（広東省深圳市福田区梅林路63号）

②万科住宅産業化研究開発基地（広東省東莞市松山湖産業園区）

スケジュール・内容

- ① 9：00 （集合）万科建築研究中心（深圳市）
- ② 10：00～11：00（見学）万科工業化住宅第2号試作棟（東莞市）
- ③ 12：00～13：00（昼食）深圳市内レストラン
- ④ 13：00～14：00（見学）万科の代表的分譲プロジェクト「万科城」（深圳市）
- ⑤ 15：00～15：30（見学）万科建築研究中心「生活体験館」（深圳市）
- ⑥ 15：30～17：30（勉強会）
 - 1) 万科工業化住宅概要説明
 - 2) 万科住宅産業化企業連盟について
 - 3) 討議
- ⑦ 18：00～20：00（懇親会）深圳市内レストラン

今回は、設立準備会議（5月）、訪中視察団との日中合同会議（10月）、そして中国分科会の4回の会議を含めて、第6回目の会議となりました。12月 in 上海会議にて検討した、

（仮称）中国建築生活倶楽部

〔日本組織名：日中建築住宅産業協議会中国分科会〕第1回勉強会

として開催いたしました。

今回のテーマは、中国分科会・会長代理会社でもある深圳・万科企業集団様のご好意で、

万科の提案する「中国式工業化住宅工法」とは・・・

－ 中国の住宅品質および性能向上に向けた万科の取り組み －

について、勉強会を開催いたしました。

万科企業集団は、2000年より中国の住宅品質および性能向上に向け、工業化住宅工法の研究開発に取り組んで参りました。2008年の実用化を目指して更なる研究開発を進めており、今回はその開発状況と技術概要を見学そしてご説明いただきました。

特に会員企業の YKKAP 株式会社及び松下電工株式会社と株式会社エプコの三社が協力企業として参画されており、詳細についてのご説明を頂きました。

万科の伏見建築技術総監様のお話では、『ハードの目処はついた。今後の課題は、施工作業者の教育とレベルアップ』との事でした。

早朝からの見学及び勉強会の後、場所を変えて大・懇親会となりました。

参加者は、中国賛助会員及びオブザーバー（日中双方の企業）参加を含めて、35名の方々にご参加いただきました。

(A. H 記)

(関連記事：会報 NO.167 掲載)

万科建筑研究中心（深セン市）



万科工业化住宅
第2号试作栋（东莞市）



万科的代表的分譲プロジェクト
「万科城」（深セン市）



勉強会&討議



懇親会

